



医療法人社団煌生会 介護老人保健施設さくら

入所サービス

ショートステイ

通所リハビリ

訪問リハビリ

居宅介護支援

訪問看護



電話：0157-68-1139

FAX:0157-68-1133 E-MAIL:sakura_info@mintpia.jp

ホームページ <https://mintpia.jp/sakura/index.html>

老健さくらを活用した
“特徴的”な2つのケースを
ご紹介します。



ケース1

脳卒中で入院した
太郎さんの場合
【自宅復帰を支援】

③ 早期の緊急治療により大事には至りませんでした。
しかし、右足にマヒが出てしまったので、
リハビリを行うことになりました。

助かった
けど、足が…
困ったなあ。



④ 状態が良くなってきたある日のこと、病院の先生から退院を勧められました。

しかし、一人暮らしの太郎さんは、以前のような生活ができる自信がありました。



そろそろ
退院しま
しょうか。

ちょっと
不安が…

⑤ そこで、病院から老健さくらを勧めてもらいました。

1人ひとりに
応じたりハビリが
できますよ。



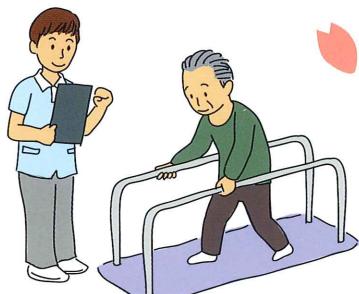
入所

⑥ 老健さくらに入所した太郎さん。
自宅での生活を見据えたりハビリに励みました。
また、ヘルパーを利用するための手続きなど
自宅の生活に向けた準備をしました。

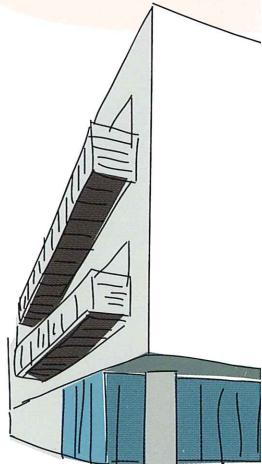


太郎さんのある1日の過ごし方

- 午前：リハビリ（歩行やトイレ動作の練習）
- お昼：ほかの入所者と一緒に昼食
- 午後：身体運動の自主トレ
お風呂
- 夕方：面会と家族の介護指導



介護老人保健施



⑦ そして3ヵ月後、すいぶんと歩けるようになった太郎さんは安心して自宅に帰っていきました。

お世話に
なりま
した！

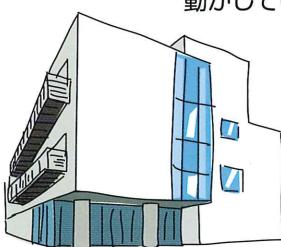


⑧ その後も身体の機能を維持するために老健さくらに毎週通い、身体を動かしています。

通所リハビリ
訪問リハビリ



我が家が
一番!!



ケース2



段々と体力が落ちてきて 自宅生活に自信がなくなってきた 花子さんの場合 【自宅療養生活を支援】

① 花子さんは、訪問介護などの介護サービスを使いながら自宅で家族と一緒に生活していました。



② ところが、よく家の中で転ぶようになったり、階段を上がるのが大変になってきました。1人でお風呂に入るのもおっくうになってきました。



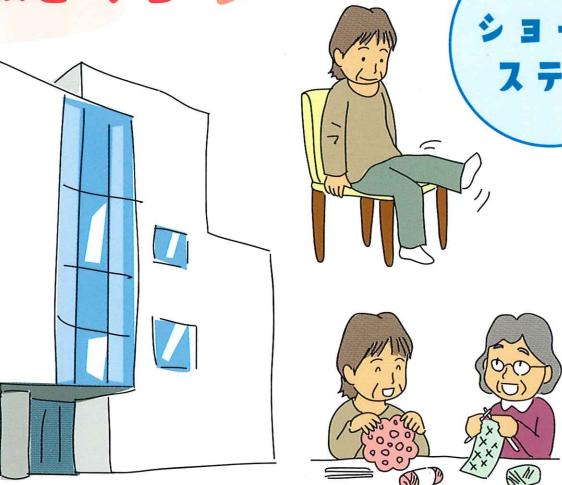
③ ある時、風邪をひいてしまった花子さん。数日で風邪は治りましたが、身体が弱ってしまった花子さんは布団から起き上がりなくなっていました。



④ このままでは自宅で生活できない…。どうしようかと悩んでいたところ、担当のケアマネジャーと支援相談員（ソーシャルワーカー）から少しの間老健さくらを利用してリハビリをしてはどうか？とアドバイスされました。



老健さくら



⑤ 老健さくらのショートステイを利用した花子さん。

もう一度自宅で安心して生活できるよう、自分のペースに合わせて筋力アップの運動を行いました。一緒に入所している方と一緒にカラオケなどにも参加し、身体も心も元気になっていきました。



花子さんのある1日の過ごし方

- 午前：お風呂
- お昼：ほかの入所者と一緒に昼食
- 午後：リハビリ
(家事練習、筋トレ)
- 夕方：自由時間



⑥ 1ヶ月後、体力が回復し、花子さんは自宅に帰りました。

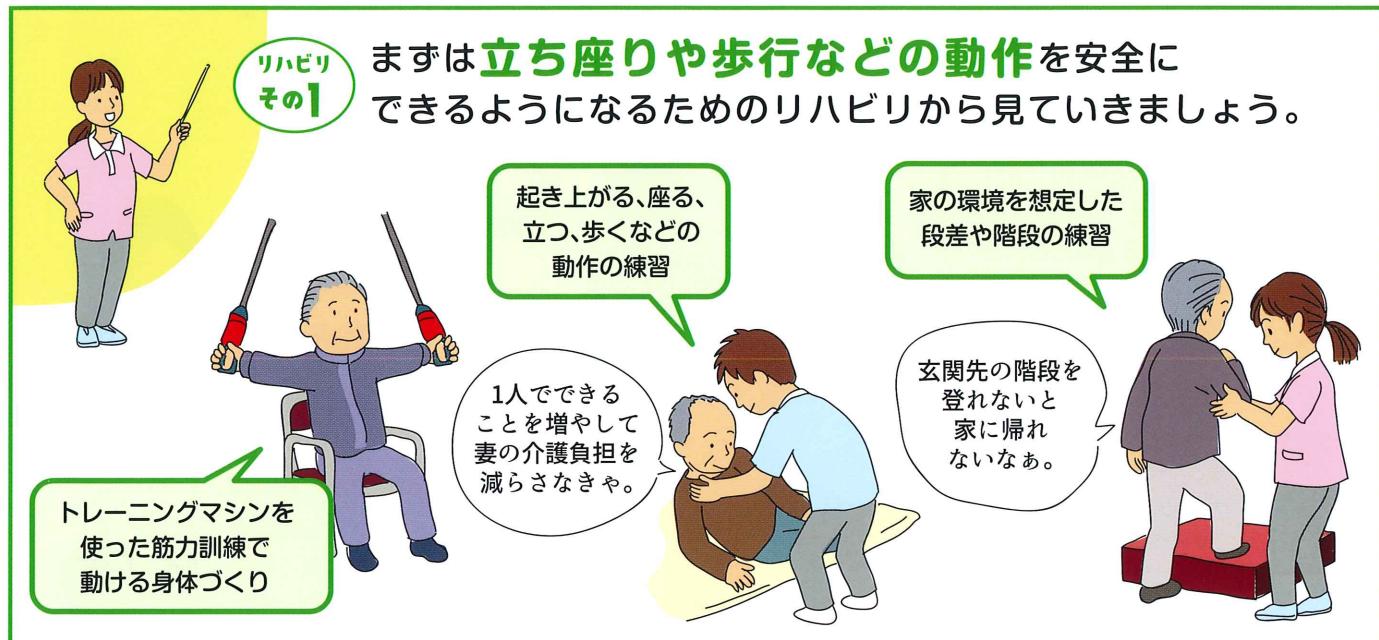
以前よりも元気に家の中を歩けています。

花子さんが入所中に
家族もリフレッシュ
することができ、
元気になりました。（〃）

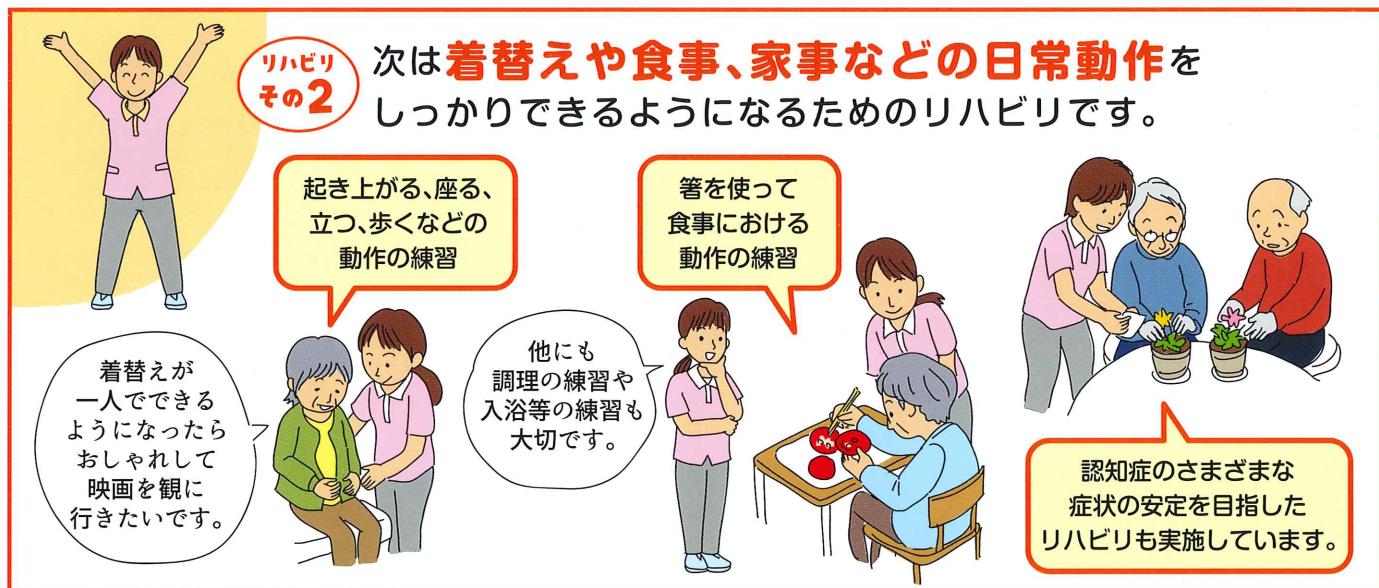


では、老健さくらの最大の特徴であるリハビリについて詳しく見ていきましょう！

介護老人保健施設さくらでのリハビリについて



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が中心となって1人ひとりに合ったリハビリを行います。



リハビリは入所やショートステイ、通所、訪問で受けることができます。





介護老人保健施設さくらは、医師や看護師、介護士など 多職種チームでみなさんの生活を支えています！

それぞれの専門職が専門性を発揮しつつ、全体が一つのチームとして
ケアサービスを提供するのが介護老人保健施設さくらの特徴です。

**支援相談員
(ソーシャルワーカー)**が
在宅生活の困ったことへの
相談にのり、1人ひとりに
応じたサポートをします



管理栄養士が
栄養バランスの整った
献立を提供



ケアマネジャーが
1人ひとりに合った
サービスを提案



介護老人保健施設 さくら

介護福祉士が
食事や入浴などの
日常生活をお手伝い



**リハビリの
専門家**が
施設と訪問した
自宅でリハビリを行います



家具の配置の調整や、自宅での動作の確認を通じて、みんなの自宅生活を支援します。



**医師と
看護師**が
服薬や健康を
しっかりサポート



介護老人保健施設さくら～サービスの概要

1 施設入所



在宅復帰を目指すために、日常生活機能の維持・改善に向け看護・介護・リハビリなど専門の多職種によるリハビリテーションや栄養管理・食事・入浴・排泄など包括的な日常生活ケアを提供し、利用者1人ひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。

2 短期入所(ショートステイ)



介護している家族が都合により一時的に介護ができないようになった場合など、在宅生活している方が数日から数週間、施設に入所し日常生活の支援やリハビリテーションを受けるサービスです。

3 通所リハビリテーション



自宅で生活されている要支援・要介護の高齢者が、日中に送迎車で施設へ通い、昼食や入浴など日常生活の支援と心身機能の維持・向上のため専門職のリハビリテーションを受ける日帰りサービスです。

4 訪問リハビリテーション



自宅で生活されている要支援・要介護の高齢者の自宅に専門職が訪問し、自宅環境に応じたリハビリテーションや介助・支援の具体的なアドバイスを行い、日常生活の維持・向上を目指すサービスです。

介護老人保健施設とは

病院に入院する必要はないけれど、病気や障害をもつことで住み慣れた家での生活ができなくなっている高齢者に、日常生活を中心とした看護・介護のケアと専門職のリハビリテーションを提供し、高齢者とご家族の在宅復帰から在宅生活まで幅広く支援する役割を担います。病気や障害と上手に付き合いながら、少しでもその人らしい自立した生活を住み慣れた家でおくれるよう、それぞれのスタッフが一つのチームとして取り組んでいきます。

ご利用できる方

- ① 施設入所と居宅介護支援は要介護1から5まで認定された方で原則は65歳以上の方
- ② 通所リハビリ、短期入所、訪問リハビリ、訪問看護の場合は要支援・要介護の認定を受けた方

営業時間・面会時間

- 事務所窓口／月曜日から金曜日、8:30～17:30（休日／土曜・日祝・年末年始）
- 通所リハビリテーション／月曜日から金曜日、9:15～15:45（休日／土曜・日祝・年末年始）
- 訪問リハビリテーション／月曜日から金曜日、13:15～17:15（休日／土曜・日祝・年末年始）
- 面会時間／月曜日から日曜日、9:00～20:00

介護支援センター さくら (居宅介護支援)

在宅での介護相談やケアプランの作成、各種手続きなど高齢者やその家族にとって最適な介護支援を受けるためにケアマネージャーがサポートするサービス。

- 営業時間／月曜日から金曜日、
8:30～17:30
(休日／土曜・日祝・年末年始)

TEL.0157-68-1717
FAX.0157-88-0193

訪問看護ステーション さくら (訪問看護)

自宅で生活されている要支援・要介護の高齢者の自宅に、医師の指示のもと看護師が訪問し、療養のお世話や診療補助を行い、日常生活の維持・向上を目指すサービス。

- 営業時間／月曜日から金曜日、
8:30～17:30
(休日／土曜・日祝・年末年始)

TEL.0157-88-0227
FAX.0157-88-0193

- 関連事業所／北見循環器クリニック
介護支援センターオリーブ
網走市地域包括支援センターりんく（網走市委託）
- 開設／平成11年8月4日
- 面積／延面積4,414m²
- 構造／RC造3階建
- 定員／施設入所(短期入所含)100名
通所リハビリテーション70名
- 設備／個室10室・2人室5室・4人室20室
診察室・デイルーム・相談室・厨房・一般浴室・特別浴室・食堂・機能訓練室・理容室ほか

介護老人保健施設さくら
〒090-0824 北見市北光280番地6
TEL(0157)68-1139

・北見駅より自動車15分
・北見北上ICより自動車5分

